

# GUATEMALA SHB CAFÉ PUMA

高級アラビカコーヒーの産地であるグアテマラは、近年、ダビ病対策として、病害に耐性があり、短期的に収量増が期待できるハイブッド品種への植え替えが大規模に進みました。この結果として、代表的な産地のSHBグレードのトップ品質は変容し、昔ながらの柔らかい口当たりの原料の入手が難しくなっています。

一方で、これまで注目されることのなかった生産地区は、未だに伝統品種を地道に栽培している生産者がいます。ボルカフェグループのグステイナビクティエの取り組みであるボルカフェ・ウェイは、そのような生産地区の一つであるグアテマラ中東部サンアグスティン・アオガグアストランの生産者とタイアップし、伝統品種を守りながら、持続可能な農園経営を支援しています。19/20期に初めて紹介されるに至った彼らのコーヒーは、古き良きグアテマラ・コーヒーの特徴的なキャラメルのような心地良いフレーバーと柔らかい酸味のバランスのとれた味わいに仕上がりました。

また、アラビカコーヒーの生産地域である中米の森林地帯は、ジャガーやピューマといった大型猫科動物の棲息地でもあります。この、近年絶滅の危機に瀕する動物達の棲む森は、年々面積が減少しています。サンアグスティンが位置するシエラ・デ・ラス・ミナス山地は、コーヒー栽培のために最適な環境があるだけではなく、野生ピューマの棲息に適した条件も兼ね備えています。

この野生動物とコーヒー農園の共存を模索する取り組みの一つとして、ボルカフェ・ウェイのメンバーは、野生ピューマの棲息地となる原生林の保護などを呼びかけるとともに、コーヒーの売り上げの一部（ポンドあたり10セント）を、同地の野生ピューマの保護団体である、パンテラ・グアテマラ (<https://www.panthera.org/cat/puma>) に寄付しています。共に生き残りを賭けた、野生ピューマとコーヒーの伝統品種が共存する森の味わいをお楽しみください。

## CAFÉ PUMA GUATEMALA



品名：グアテマラ SHB カフェ・ピューマ  
生産地：グアテマラ中東部、エル・プログレス州、シエラ・デ・ラス・ミナス山地、  
サンアグスティン・アオガグアストラン  
生産者：ボルカフェ・ウェイ登録生産者  
生産地標高：1350から1550メートル  
栽培品種：ブルボン、カツーラ、ティピカ  
精製方：伝統的な発酵、水洗、品質保持のためのパティオをゆっくりとした天日乾燥  
生産量：年間100トン程度  
収穫期：1月から2月